

ナザレ園サポート 24 水戸 令和元年度第 2 回介護・医療連携推進会議

日時 令和 2 年 2 月 13 日（木）14：00～15：00

場所 堀原市民センター

出席 水戸市役所介護保険課・白井様

水戸市北部高齢者相談センター・山崎様

水戸市地域密着型サービス協議会・安藏様

いばらき診療所・朝日様

民生委員・中井川様

訪問看護ステーション絆・服部様

ナザレ園訪問看護ステーション・関根

ナザレ園在宅総括所長・渋谷

ナザレ園サポート 24 水戸管理者・鈴木

ナザレ園サポート 24 水戸計画作成責任者・生田目

ナザレ園事務センター・大木

記録 大木

1. 開会（以下、委員敬称略）

渋谷 年度末の忙しい中お越しいただきありがとうございます。今日は春のような陽気で、普段寒い中で生活している利用者もいるので、今日は一息つける。

2. 事業報告

①新規利用者報告

資料参照。質疑無し。

②要介護度別・月別利用人数報告

鈴木 この一年を見ると男女比はほぼ同じ。年代は 80 代が約 70 パーセントを占め一番多い。介護度別でみると 3 から 4 が多い。今年に入り認知症のある要介護 1 から 2 の方の依頼が続いている。

渋谷 1 9 B の方は自分で酒を買いにいってしまう方か？

鈴木 そうである。アルコール依存であり、女性ヘルパーでは対応困難で男性ヘルパーが入っている。

渋谷 1 9 A の方と 2 0 B の方はご夫婦で、ご主人が亡くなってから奥様の利用が開始された。

③訪問分布地図

鈴木 北部圏域と中央圏域に利用者が偏っている。

白井 新たに定期巡回の事業所ができ 3 事業所となったが、北部圏域に偏ってしまった。

渋谷 東京では定期巡回が主流になっている。水戸市の事業所の分布も市全域に分散

するとありがたい。

白井 分布図の方は、多少遠い方にも入ってくれているのですね。

渋谷 はい。交通渋滞もあるので、効率のよいルートで回れるように工夫している。

### 3. 自己評価・外部評価について

渋谷 できていないことが多いと回答した職員は新しく入ったパート職員で、勤務時間が短いこともあり、研修が思うように進んでいない。事業所全体でみれば外部研修にも積極的に参加している。ケアマネ向けの研修会で定期巡回の説明をしたりもしている。また、法人で行う実践研究発表会で水戸事業所も発表する。水戸市では、6事業所に増やす計画とのことなので、他の事業所に負けないサービスを提供していきたい。

### 4. 委員自己紹介

渋谷 初めて出席された方もいるので、各委員に自己紹介をお願いしたい。

白井 水戸市役所介護保険課の白井である。定期巡回は新しいサービスということで私も勉強できた。

中井川 専門的なことは分からないためあまり意見を言えず申し訳ない。これからも勉強していく。

安藏 水戸市地域密着型サービス協議会の安藏である。定期巡回の事業所が北部圏域に3事業所固まっている。私見になるが、定期巡回は都会的なサービスである。北部圏域は隣近所の支え合いや見守りがあり介護サービスの利用が少ない。開業したA事業所（他法人の定期巡回事業所）にしてもB事業所（他法人の定期巡回事業所）にしても、利用者確保が大変だと思う。利用者がいての事業所であるから、事業所の適正配置が事業所育成のためにも必要である。定期巡回の見守りサービスは、民生委員にとっても助かると思う。

朝日 いばらき診療所水戸の事務局長・ソーシャルワーカーの朝日である。訪問診療という分野からすると、定期巡回は重要なサービスと感じている。今いる患者で定期巡回がよいと感じる方もいるが、ケアマネの選択肢に入っていない。退院時だと導入しやすいが、サービス移行はしにくい。1年で約50件看取ったが、1割は独居の方である。定期巡回と看護小規模多機能は力になる。

山崎 北部高齢者相談センターの山崎である。私も定期巡回を利用する方に関わったことがあり、よいサービスだと思うが、ケアマネに浸透していないところがある。ケアマネとしても定期巡回を導入するのは勇気がいるのかと思う。鈴木所長が行ったケアマネの研修会での説明はよいと思う。もっと定期巡回が浸透するとよいと思う。

服部 訪問看護ステーション絆の服部である。いつもお世話になっている。知らないことも多いが勉強していきたい。

関根 ナザレ園訪問看護ステーションの関根である。那珂市でも定期巡回があり浸透

してきた。ケアマネが理解すると浸透するように思われる。定期巡回のサービスに家族が頼り切って、家族のサポートが無くなってしまうこともある。アセスメントのための月 1 回の訪問しかできずに亡くなってしまった方がいた。看護師がもっと入っていれば違った状況になったかもしれないと反省する。台風で被災されたかたの安否確認はどうしたか？

鈴木 幸い利用者で被災された方はいなかった。

渋谷 通常の訪問介護では難しい安否確認ができることも定期巡回の強みである。

安藏 アルコール依存の方の治療はできないのか？

鈴木 入院したことはあるが、本人に治療の意欲がない。周りの方への被害はないため、強制入院はできない。普段私達への口調は強いが、今はアルコールを切らせており好々爺然としている。

安藏 私の知っている車いすの方でも、酒さえ飲まなければよい人でいられる人がいる。

渋谷 当事業所のアルコール依存症の利用者も、やがて車いす使用になって寝たきりになっていくのではないかと思われる。

安藏 認定審査会でアルコールによる認知症があるのか話題になったが、あるのである。私の知り合いは、買い物に行けないので宅配でアルコールを買っていた。

鈴木 当事業所の利用者は、今度同じ状況で入院したら自宅には戻れないと言われて退院してきたそうだ。

生田目 計画作成責任者の生田目である。自宅で最期を迎えたいと言っていた方で、定期巡回のサービスを通して、その言葉をかなえてあげられた。人に甘えない方だったが、最後にサービスに入ったときに冷たいものを飲みたいと言っていた。半月経った今になってみると、最期を悟っていたのかなと思う。家族も仕事が忙しくて最期の時には会えなかったが、自宅で亡くなるという最期の希望をかなえられて、よいサービスだと改めて感じた。

渋谷 当法人理事長も自分が入りたい施設にするようにと話しているが、自分が利用したいと思うサービスを提供することが大事である。

鈴木 所長の鈴木である。急な状態の変化があった方、独居等で服薬困難な方、不安が強い方、急な退院をする方に向いているサービスである。利用者、ケアマネ、地域の方から選んでいただける事業所を目指して、個々の職員のレベルアップに励んでいる。

朝日 定期巡回を導入するに至った経緯をいくつか教えていただきたい。

鈴木 ケアマネからの依頼が多い。退院に際してプランが定まっていないときに、訪問しながらできていないことを見つけて提案している。また、利用者や信頼関係を築いて密に入るようにしている。導入から 10 か月近く、行くたびに「何しにきたの？」と言っていた方が、ある日突然言わなくなった。受け入れられたと感じた。

渋谷 ケアマネがこういうことをしてほしいと大卒で依頼してきて、訪問しながら細

部を詰めていくことが多い。退院時や認知症初期の方への導入が多い。

安藏 要介護1だとプライドがある。なじみの関係の成立には時間がかかる。毎日行っていればなじみの関係ができるというわけでもない。何かのきっかけがあるのか。私の知人が困っており、定期巡回と看護小規模多機能を提案した。在宅で最期を迎えたいと思っている人は、看護小規模多機能がよいのか、通いを望まないなら定期巡回がよいのか。在宅で生活したい人がサービスを選べるようになってきた。

渋谷 定期巡回は医療も介護もあるのが訪問介護よりよいところ。看護小規模多機能はさらにデイとショートが加わる。

安藏 デイに行きたいと思っていない利用者は多い。家でも安心して生活できる医療サービスがある。

関根 訪問診療も対応する医師がもっと増える必要がある。

朝日 急性期に対応するからみんな当診療所に来る。慢性期の患者には訪問看護を導入するようにしている。各医院の医師が少人数でも在宅診療の患者を担当してくれれば在宅診療が推進できる。

関根 最期の時に訪問診療の医師がきてくれ、布団で最期を迎えられるとよい。

渋谷 ヘルパーも最期をみてる医師がいると安心である。

朝日 死亡確認だけでもよい。

安藏 かかりつけ医とは死亡確認を約束してくれる医師と考えるとしっくりきた。

## 5. 次回開催について

鈴木 令和2年8月20日(木)14時を予定している。予備日は9月10日(木)である。